

わかしお便り

Vol. 56

Wakashio Dayori
2022.6.27

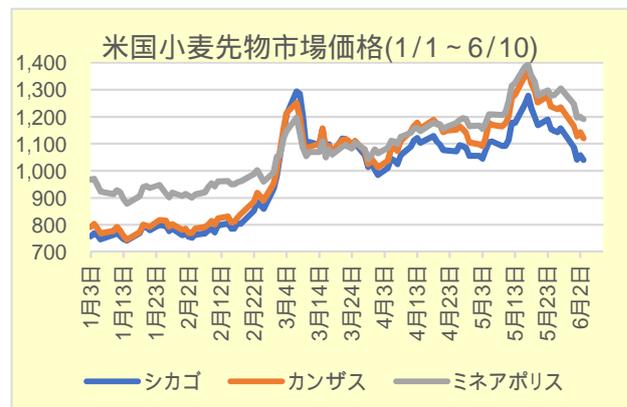
CONTENTS 原料小麦情報……シカゴ市況、麦価・粉価動向など
市場トレンド情報……‘ちばふん’目線で最近の食品市場をご案内
新製品発売状況……イチオシ製品のご紹介
雑感



インド禁輸や米国作柄悪化により急騰 ウクライナ輸出再開期待から下落

4/1～5/31までの2ヶ月間のシカゴ穀物相場(7月限)はφ984～1,294/ブッシェル(bu)のレンジで推移しました。

ウクライナ・ロシア間の紛争の影響を受けたシカゴ相場は3月に13ドルを超える史上最高値を付けた後、USDA(米国農務省)発表の需給報告が弱気な内容だったことから大幅な下落を見せました。4月に入ってから紛争の長期化への懸念が高まったことや、米国冬小麦の作柄が悪化したことが相場を押し上げましたが、下旬には米国冬小麦産地での天候改善に加え、中国・北京の都市封鎖の兆しが見えたことが景気減退懸念を生み、緩やかな下げ基調となりました。5月に入ると熱波による減産見込みからインドが輸出禁止措置を取ったことで相場は急騰しました。米国春小麦産地での多雨により作付けに遅れが発生したことも上昇要因となり、一時12ドルを超える値を付けました。5月下旬以降はインドの禁輸措置が例外を認める緩い内容であるとの見方が広まったことや、ウクライナか



らの穀物輸出の再開が期待されたことで大幅な下落が続いていますが、下落の反動を受けた投機的な買いが入り乱高下する状況となっています。

米国硬質冬小麦の産地は依然として干ばつ状態が続いており、現在の作柄を示すG+E率は13%と記録的な低水準となっています。春小麦産地では長らく続いていた干ばつ状態から一転、4月に東部エリアで多雨が続く、土壌が急激にぬかるんだ影響で作付けに遅れが発生していることから、作付面積の減少や生育の遅れが懸念されることです。ウクライナ問題もさることながら、米国産地においては作柄が悪化している地域が多く、今後も多くの課題に直面しそうです。

市場トレンド

情報



再注目の和スイーツ

早いもので気付けばもう2022年の半分か過ぎようとしています。まだ制限があるとはいえ、コロナも落ち着きを見せ始め、人の流れも活発になろうとしています。巣ごもりにより新たな流行も生まれにくい状況でしたが、制限が緩和された今、どんな流行が来るのか、業界では様々予測がされております。

ネット社会の現代では、グルメブームに火が付くのもSNSが発端ということも多く、「バズる」きっかけは予測が付かない世の中です。スイーツにおいて記憶に新しいところでは、イタリア生まれの「マリトッツォ」や、韓国マカロン「トゥンカロン」など、海外のスイーツがブームとなりましたが、今回は密かなブームを感じさせる「和スイーツ」、その中でも最もポピュラーな“どら焼き”についてお話したいと思います。

改めて、どら焼きとはどんなスイーツなのでしょう？ 一般的には小麦粉、卵、砂糖を基本材料とし、これらを混ぜて丸く焼いた2枚のカステラ状の皮に餡を挟んだ和菓子とされています。今では小豆餡だけではなく、様々な味や素材が考案され、多くの世代に愛されるスイーツとなりました。どら焼きの名の由来は、打楽器の銅羅(どら)に似ていることから付いた説が有力ですが、最近ではそれが進化し、フルーツや生クリームを入れるなど、洋風テイストのどら焼きも増えており、Instagramの投稿では「#どら焼き」は38万件以上、「#どら焼き専門店」も8000件以上あります。また、コンビニエンスストアでは、各店舗にあるスイーツコーナーでのどら焼きが定番化されつつあります。

老若男女、幅広い層から支持を受けやすく、中身を変えることで各世代に合わせた工夫もできる為、現代では様々なタイプのどら焼きが販売されています。発祥の地とされる日本橋付近では、老舗のどら焼き専門店が多くあり、時代の変化に惑わされない安定した味が楽しめる一方、今では洋菓子店でも工夫を凝らした変わった商品を販売したりと、バリエーションは増え続けています。

餡子をベースに栗やバターを入れた和風もの、クリームやフルーツを入れてSNS映えを狙った洋風ものなど、様々な楽しみ方があります。究極的には、贅沢な原材料だけを使った皮だけを販売することで、バターやジャム、アイスに乗せたり、トースターで焼いて食べたり、それぞれのオリジナルアレンジで食べる楽しみを提供しているものまであります。

コロナ禍で、より身近となったお取り寄せ。ここでも和スイーツは定番となりつつあり、中でも親しみのあるどら焼きは多くの人の支持を集めているそうです。今後も進化し続けるであろう、和スイーツの王道「どら焼き」に皆様も今一度注目してみたいはいかがでしょうか。

(K・A)



新製品発売状況



中華麺用粉:花象 中華しょうぶ

今回ご紹介するのは、特に色調に優れ、明るく冴えがあり、変色・ホシの少ない中華麺用粉「花象 中華しょうぶ」です。

麺類としてしようすると、滑らかで、かつ茹で伸びの遅い麺となります。また皮物としては使用する場合には、明るく冴えた色調で柔軟性のある皮になります。加えて、低加水から多加水麺等、幅広い加水条件でご使用いただける汎用性も特徴となっています。

近年では、多種多様なラーメンスープが増えてきましたが、塩系や豚骨系といった幅広いスープにも合いやすい中華麺に仕上がります。また、過去の実績では蒸し中華麺や焼売等の皮物類に使用して頂いた際にも、高いご評価をいただいております。

「千葉製粉の中華麺用粉を見てみたい。」とご要望をいただいた際には、まずは弊社代表銘柄の「花象ふよう」と、こちらの「花象 中華しょうぶ」を使用したサンプルを送らせていただき、ご評価を頂いております。是非よろしく願い致します。



2022年の関東地方は平年よりも1日、昨年よりも8日も早く梅雨入りいたしました。気温は25℃を超え、夏日になる日も増えてきましたが、気温は高い一方で、晴れ間は少なく、ジメジメとしているために洗濯物も乾きにくく、食中毒にも一層の注意が必要となるなど、この季節はやはり心配事が増えてくるな、という印象です。今号の雑感では、関東にある野球場について触れています。ジメジメと過ごしやすい季節ではありますが、湿気と暑さに負けず、雨が降っていない日には思いきって外出して見るのも良いのではないのでしょうか。

ナイター観戦には良い季節となりました・・・

コロナウィルスとの戦いも早三年目となる2022年もあっという間に6月を迎え、夏の足音が聞こえる季節となりました。長引くロシア、ウクライナ紛争、各原材料の高騰、物価の上昇と暗い話題ばかりが目立ちますが、そんな中でも今年のプロ野球は観戦者数の人数制限の撤廃を決め、セ・パ交流戦も盛り上がりを見せました。

そんな球界が盛り上がっている中で、今回は私の好きな関東圏の野球場についての紹介を書きたいと思います。(なお、各所に個人的な主観が入りますが、あしからず・・・)

【明治神宮野球場(本拠地球団 ヤクルトスワローズ)】

現在のヤクルトスワローズでは昨年からは着実に若手が育ち、今年はセ・パ交流戦でも優勝。黄金期の到来でしょうか。球場にて見られる7回裏での傘をふっての東京音頭は名物となっております。地下鉄外苑前から徒歩5分と、アクセスも良好です。お散歩がてらにお隣の新国立競技場を見学するのも良いのではないのでしょうか。

【ベルーナドーム(本拠地球団 埼玉西武ライオンズ)】

今年の西武埼玉ライオンズも、強力打線は健在です。足を絡めての攻撃は他球団の脅威になります。西武球場前駅、直結。池袋より特急スタジアムエクスプレスを使えば35分弱で到着。新型車両ですので鉄道好きの方にもお勧めです。電車からは、途中で狭山丘

陵の茶畑も見えますので小旅行気分になります。ただし、夏は酷暑、春先は冬の名残りたっぷりなので、遊びに行かれる際には体調管理にくれぐれもご注意くださいませ。

【ZOZOマリンスタジアム

(本拠地球団 千葉ロッテマリーンズ)】

日本球界の将来を背負う、佐々木朗希君が在籍しています。(ちなみに、完全試合達成の瞬間には私も立会いました!!若干まだ二十歳!!)現在チームは悲願の優勝を目指しております。千葉製粉より最も近い球場でもあり、車では10分弱の為、会社帰りにも行くこともできます。海浜幕張駅から徒歩で向かうこともできますので、仲間同士で話しながら球場に遊びに行くのも良いと思います。

個人的な主観の入っておりますが、いかがでしたでしょうか?皆様のお出かけの参考になれば幸いです。感染対策に注意しながらくれぐれも無理のない範囲で楽しみましょう~ (Y・H)



 千葉製粉株式会社

製粉・ミックス事業本部

Tel:043-241-0116 Fax:043-241-0611 E-mail:seifun-mix@chiba-seifun.co.jp

【重要】本レポートは、あくまで小麦粉関連の情報提供を目的に作成されたものです。信頼できると思われる 公開情報に基づき作成されておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。読者の皆様におかれましては上記ご留意の上、ご賢覧ください幸いです。皆様に未永くご愛読いただけるよう執筆者一同精進いたしますので、引き続き宜しくお願ひ申し上げます。